

令和7年度 第3回八幡市介護保険事業計画等策定委員会 議事録

日時：令和8年2月16日（月）14時45分～15時30分

場所：八幡市役所 会議室5-1

出席者：委員11名、計画策定業者1名、事務局5名

議題：（1）八幡市介護職員ワークショップ報告について

（2）八幡市第10期介護保険事業計画等策定にかかるアンケート調査結果報告書【介護事業所調査・介護支援専門員調査】について

配布資料：資料3 八幡市高齢者保健福祉・介護保険事業計画策定のためのワークショップ【実施報告】

資料4 八幡市第10期介護保険事業計画等策定にかかるアンケート調査結果報告書【事業所調査・介護支援専門員調査】

議事内容

（1）八幡市介護職員ワークショップ報告について	
委員	策定業者より資料3についての説明。
委員	資料3について、質疑等がございますか。
委員	介護現場にいた自分としては、認知症支援は切実な意見だと感じました。介護現場は閉鎖的で、八幡市の地域にあるという意識が低くなりがちなので、認知症についての理解を現場職員から地域へ啓発していくことが大事だと思いました。
委員	自分自身は直接介護に関わっていないが、このような会議で話を聞く限り、大変であると感じています。知人で奥様の介護をされている方がいますが、同じような方が数多くおられると思います。市として、そのような方をどのように把握し、支援していくかが大事になってくると思います。
委員	ワークショップに参加された29名の年齢や介護職の経験年数に特徴はありますか。どのような事業所に勤務されている方が多いのか、何か条件を設けて参加者を募ったのでしょうか。
策定業者	年齢層や経験年数は様々でした。協力していただいた事業所から数名を出していただいた形になります。
事務局	通所や入所の施設だけでなく、訪問看護の事業所にもお声掛けし、参加していただきました。介護職に従事されて3年未満の方を中心に募集を行いましたが、対象者がいない等の理由で10年以上のベテランの方も参加していただき、年齢層は20代から50代まで様々でした。

委員	参加者の背景がわかるとアンケート結果で見えてくるものが違ってくると思うので、そのような情報があれば、提示いただきたいです。
委員	このようなワークショップは今回が初めてですか。今までにワークショップ以外にこのような取り組みはされてきたのでしょうか。
事務局	今回が初めての取り組みとなります。また、ワークショップ以外でも取り組みをしたことはございません。
委員	このようなワークショップの他に研修会のような情報交換や意見交換の場があるだけでも、モチベーションが上がったりするのでこれを機会に定期的実施していただきたいです。事業所としても業務の一環として開催していただくと良いのではと思いました。
委員	その他、質疑等はございますか。
	—意見なし—
委員	他に意見がないようでしたら、次の議題に移ります。
	<p>(2) 八幡市第 10 期介護保険事業計画等策定にかかるアンケート調査結果報告書【介護事業所調査・介護支援専門員調査】について</p> <p>策定業者より資料 4 の介護事業所調査結果についての説明。</p>
委員	介護事業所調査結果について、質疑等はございますか。
委員	介護職員の半数以上が 40 歳代以上となっており、今後の運営についてどのように進めるか、事業所だけでなく市の課題であるとも思います。人材確保についても、大阪府の方が最低賃金が高いので八幡市で働く魅力をどのように発信していくかが大事になっていると感じています。
委員	私も人材確保について、気になっています。国も介護職員確保のために動いていますが、八幡市としても隣に枚方市がある中でどのように人材確保していくかが重要だと思います。梨の里には 150 床のベッドがあり、かなりの介護職員が必要となりますが 30 歳代の離職率が多くなってきました。何とか職員を確保しないといけない中で技能実習生が定期的に入ってきますが、技能実習生同士のネットワークで情報等のやり取りもあり、人が定着しないという課題が出てきています。

委員	<p>人材確保は急務だと感じています。私の施設では技能実習生や特定技能Ⅰ号が16名、介護福祉士の資格のある職員が1名います。人材の流出という点で外国の方々のネットワークがあり、東京や大阪へ出ていくこともあります。外国の方に助けてもらわないといけない現状で育てた人材定着を含め、市と一緒に、人材確保のために模索していく必要があると感じています。</p>
委員	<p>ICT 機器等を活用されている法人が多くありますが、各法人が独自で ICT 関連会社と提携し、導入しているのですか。</p>
事務局	<p>事業所が独自で導入されています。</p>
委員	<p>独自になると予算がかかってくると思うので、もう少し安価なシステムが出来れば良いと感じました。</p>
委員	<p>他に質疑等、ございますか。 —意見なし—</p> <p>他に意見がないようでしたら、介護支援専門員調査結果について事務局より説明をお願いします。</p> <p>策定業者より資料4の介護事業所調査結果についての説明。</p>
委員	<p>介護事業所調査結果について、質疑等はございますか。</p>
委員	<p>どこも担当件数が溢れ返っていると思っていましたが、あまり件数を持っていない事業所もあるのだと思いました。ケアマネ業務は本来、介護保険に関することですが、それ以外の仕事もやる人がいなければいけない現状があります。ケアマネ以外の業務が多く、仕事を楽しくていない方も多くいると思うのでもっと介護保険に特化できる業務にならないかと感じています。</p>
委員	<p>その意見については、継続的な課題でありますね。</p>
委員	<p>居宅のケアマネをして感じるのは、家族と事業所の板挟みになることが多いです。以前は社会福祉士や介護福祉士等の上位資格のようなイメージを持って積極的に資格取得する人が多かったが、最近ではケアマネ資格の評価をしてもらえず、待遇面でも厳しいので資格取得する職員が減ってきています。介護職員と同様でケアマネの高齢化が進んでおり、フォローがないと定年を機に退職する職員が多くなるのではないかと感じていま</p>

	<p>す。ただ、介護保険を利用して、在宅生活をしていく方にとっては必要な人材であるため、市と協力して人材確保に取り組む必要があると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>介護職員だけでなく、ケアマネでも新たな人材確保や育成が必要であると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私は要介護5の母を妹と二人で介護をしています。リハビリやマッサージ等は自宅に来ていただいてやっていますが、自分たちで出来ることは自分たちでやっています。在宅介護をしている者からすると最後に頼るのはケアマネになります。最初はどこに頼れば良いのかもわからず、書籍等を見ても専門用語が多すぎてわかりません。ケアマネ業務が大変だと思いますが、在宅介護をしている家族も大変です。また、介護サービスを受けるにあたっては費用も掛かるのでサービス利用を考える必要があります。先日、母の体調が悪くなり、訪問看護に来ていただき、2週間点滴を受けることになり、その間介護保険のリハビリを受けることは出来ないと言われました。介護保険と社会保険の併用が出来ないことは一般の者にはわからないので説明してくれる人が必要であると思いました。その辺りについてはケアマネが詳しいので、介護される人やその家族にとっては最後の砦であると感じています。</p>
<p>委員</p>	<p>大変な在宅介護でのご意見かと思います。改めてケアマネの責務の重さを感じました。介護保険制度の発足と同時にケアマネが登場しましたが、25年経過し、課題や人材確保についての問題があります。ただ、在宅介護されている方にとってケアマネは一つの窓口であり、重要なキーパーソンです。この介護保険計画でどの程度反映できるかわかりませんが、八幡市に住んでいる方々どんな状況にあっても安心して生活が出来るように市と介護事業所の連携と市民の協力が上手くかみ合うように努力していければ良いと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>その他、質問等はございますでしょうか。</p> <p>—なし—</p>
<p>委員</p>	<p>以上を持ちまして、第3回介護保険事業計画等策定委員会を終了させていただきます。</p>